

令和3年3月10日

大阪大学 求人ご担当部署 御中

(公財)ユネスコ・アジア文化センター
文化遺産保護協力事務所

求人「募集要項」の送付について

拝啓 浅春の候 貴学におかれましては益々ご発展のこととお喜び申し上げます。

さて早速ながら、お忙しい中を恐縮ではございますが、当事務所では、本年4月中旬での専門職[英語]1名の採用を予定しております。

つきましては、別添の通り「募集要項」等を送付させていただきますので、募集要項の掲示等、周知に格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

○送付書類

1. 「令和3年度専門職員[英語]募集要項」
2. 「当事務所案内リーフレット」

担当：(公財) ユネスコ・アジア文化センター
文化遺産保護協力事務所[ACCU奈良]
副所長 尾登(おと) 政司

E-mail：nara@accu.or.jp

電話：0742-20-5001

Fax：0742-20-5701

(公財) ユネスコ・アジア文化センター文化
遺産保護協力事務所職員の募集について

ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所（ACCU奈良）は、アジア・太平洋地域の国々の文化遺産保護協力活動を支援するために、ユネスコやイクロム（文化財保存修復研究国際センター）と連携しながら、人材養成のための研修を始め、様々な国際協力事業を展開しています。この度、円滑な事業運営を期するため、下記のとおり職員を募集します。

記

1. 採用期間 令和3年4月中旬 ～ 令和4年3月31日
雇用契約を更新する場合有り（年度単位による契約）
2. 採用予定 専門職1名（英語）
3. 業務内容

採用職種	業務内容
専門職	①文化遺産保護に関する研修事業等における海外機関等との英語での電話・メール等の連絡調整 ②文化遺産保護に関する英語報告書等の作成・翻訳・校正等の業務 ③文化遺産保護に関する英語での海外情報発信や情報収集

4. 応募資格

採用職種	応募資格
専門職	①上記の業務遂行上必要とされる十分な英語運用能力を有する方 TOEIC 800点（英検準1級）以上 を目安とします。 ②ワード、エクセル、パワーポイントなどを利用し、文書作成が可能である方 ③普通自動車免許を有し、実際に日常運転しておられる方

5. 給与保険

給 与 月額 190,000円 その他通勤手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当
※給与は経歴、経験等に応じて上乘せすることがあります。
社会保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

6. 勤務様態

勤務日 月曜日～金曜日
勤務時間 8時45分から17時30分（1日7時間45分、休憩時間60分）
勤務場所 （公財）ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所
奈良市法蓮町757 奈良県奈良総合庁舎1F
※令和4年1月以降で、天理市杣之内町に建設される「なら歴史
芸術文化村」に事務所が移転となり、勤務地が変わります。
休日休暇 土日・祝日、年末年始
労働基準法の規定に基づく年次有給休暇
夏季休暇、特別休暇

7. 応募書類

- ①履歴書（写真添付） ※市販のものを使用ください。
 - ②志望動機（A4用紙1枚程度）
 - ③職務実績一覧（様式自由）※職歴のある場合に提出
 - ④TOEIC等の公的認定証（写し）
- ※応募書類は、返却しませんので、予めご了承ください。

8. 応募締切

令和3年3月26日（金）
下記の住所宛に郵送にてご応募ください。

9. 選考方法

書類選考（一次審査）のうえ、面接（二次審査）に来て頂く方のみ連絡します。
※面接のための交通費は、各自負担となります。
面接予定日 令和3年4月2日（金）10:00

10. 提出先・問合せ先

〒630-8113 奈良市法蓮町757 奈良県奈良総合庁舎1F
（公財）ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所
E-mail nara@accu.or.jp
担当 尾登（おと）
問合せは、電子メールにてお願いします。

2021年3月5日

関係大学 学 長 殿
学 部 長 殿
研究科長 殿
関係研究機関長 殿

駒澤大学文学部長
橋 詰 直 道
[公印省略]

専任教員の募集について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、駒澤大学文学部では、下記の要領により専任教員の公募をいたします。
つきましては、貴学・貴機関の関係各位へのご周知方をお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 所属学部学科：文学部国文学科
- 2 採用予定職名および人数：准教授もしくは専任講師 1名
- 3 勤務形態：常勤（任期なし）
- 4 教育・研究分野：日本近現代文学
- 5 採用予定年月日：2022年4月1日
- 6 主要担当科目：「基礎国文学」「国文学史」「近代文学研究」「国語国文学演習」「卒業論文」
「専門導入セミナー」など
*担当科目は、あくまで予定。
*大学院（講義・演習）を担当する可能性もあります。
- 7 応募資格・条件：
 - 1) 博士の学位を有する方、またはこれに準ずる研究業績を有する方。
 - 2) 上記科目を担当し得る業績を有する方。特に詩歌の研究指導ができる方が望ましい。
 - 3) 授業および学内業務を円滑に行う日本語能力を有する方。
 - 4) 対面・オンライン双方の授業に対応できる方。
 - 5) 学科・学部・大学運営に関わる業務に積極的な方。

8 提出書類

1) 本学指定の履歴書・研究業績書（業績多数の場合、主要業績5点に○印を付すこと）1部

※履歴書・研究業績書は、駒澤大学ホームページ→人事部→履歴書（専任教員）よりダウンロードして作成してください。国籍欄、家族欄は記入不要です。通称名を使用される場合は応募段階での別途申請書の提出は不要です。

※国立研究開発法人 科学技術振興機構 JREC-IN（研究者人材データベース）にも本公募情報を掲載していますので、そちらからもダウンロード可能です。

2) 学位記の複写、あるいは学位取得証明書 1部

3) 主要業績5点（コピー可） 各5部

※主要業績に著書（単著）がある場合、著書の提出は1部で結構です。

※共編著等の場合で、応募者の執筆部分が明瞭な場合は、その部分のみをコピーしてください。

※応募者との共著者との分担が区別できない場合は、その旨を「業績一覧表」に注記してください。

※必要に応じてすべての研究業績の現物を提出いただくことがあります。

4) 上記3)の要旨（各400字程度） 各5部

5) 研究に対する抱負（1200字程度） 5部

6) 教育および学科運営に対する抱負（1200字程度） 5部

※駒澤大学文学部国文学科の専任教員になった場合の、教育および学科運営に関する抱負をまとめてください。これまで教育経歴のある方は、その経験を踏まえて書いてください。

9 待遇：給与・手当等は駒澤大学教職員給与規程により決定し、勤務条件等は駒澤大学教員就業規則によります。なお、定年は満70歳です。

10 応募期限：2021年4月24日（土）消印有効

11 提出先：駒澤大学文学部国文学科事務室

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel/Fax 03-3418-9234

※封筒の表に「国文学科教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で郵送してください（レターパックも可）。

12 問合せ先：kokubunkobo@komazawa-u.ac.jp

駒澤大学文学部国文学科 教員公募担当

※問合せは電子メールに限ります。

13 選考日程等：

1) 選考の最終段階で複数の応募者に対する面接（模擬授業）を実施します（7月上旬を予定）。感染症対策をした上で対面での実施を想定していますが、状況に応じてオンラインで実施する可能性もあります。対面で実施する場合の旅費は応募者の負担とします。

2) 最終選考結果は、2021年9月上旬までに通知する予定です。

3) なお、追加書類・業績の提出を求める場合があります。

14 その他

1) 応募に関する秘密は厳守します。書類は、採用事務以外の用途には使用しません。

2) 応募書類は原則として返却せず、選考終了後、責任をもって処分させていただきます。書籍の返送を希望する方は、必要切手を貼った封筒等（宛先記入済み）を同封してください。

以上

各位

人間文化研究機構
国文学研究資料館長
ロバート キャンベル
(公印省略)

2021年度 特別共同利用研究員の募集について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当館の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当館では、毎年度、特別共同利用研究員の受け入れを行っております。これは大学共同利用機関が、大学の要請に応じ大学院における教育に協力することを目的として実施しているもので、大学院生が当館の研究施設や資料等を利用し、併せて教員から研究指導を受けることができます。

つきましては、下記のとおり2021年度の特別共同利用研究員の受入要項等をお送りいたしますので、貴学において周知いただきますようお願い申し上げます。

なお、受入要項及び提出書類の様式につきましては、当館ウェブサイトの大学院教育ページ (<https://www.nijl.ac.jp/activity/education/researcher/>) にも掲載しておりますことを申し添えます。

敬具

記

- ・特別共同利用研究員受入要項
- ・提出書類の様式1～5
- ・ポスター

以上

<本件担当>

国文学研究資料館 総務課教育支援係

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

E-mail: edu-ml1@nijl.ac.jp

TEL: 050-5533-2915

FAX: 042-526-8604

2021年度国文学研究資料館 特別共同利用研究員受入要項

1. 目的

大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、当館に「特別共同利用研究員」を受け入れ、必要な研究指導を行う。

2. 特別共同利用研究員

特別共同利用研究員とは、国立大学法人法に基づき、大学共同利用機関である国文学研究資料館において研究に従事し、併せて研究指導を受ける大学院学生をいう。

3. 受入人員

5名程度

4. 受入対象

日本国内の国公立大学大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、日本文学、日本史学及びこれらに関連する分野を専攻する者

5. 受入期間

2021年4月～2022年3月

なお、特別共同利用研究員の研究状況により、所属する大学院及び本人の申出があった場合、館内で審査のうえ1年の延長を認めることがある。

6. 研究指導場所

国文学研究資料館（東京都立川市緑町10-3）

※新型コロナウイルス感染症対策等の社会情勢に応じ、オンラインによる指導などに変更する場合があります。

7. 指導教員及び研究指導分野

特別共同利用研究員の指導教員及び研究指導分野は別紙「国文学研究資料館 特別共同利用研究員 研究指導概要一覧」のとおり。

応募書類を提出する前に、希望する当館の指導教員に必ず連絡を取り、研究指導の方法や内容等について相談した上で応募手続きを行うこと。希望する教員への事前連絡がない場合、原則として応募の受付を行わない。

なお、希望する指導教員以外が研究指導を行う場合がある。

8. 提出書類

- (1) 所属する大学院研究科長の委託書（様式1）
- (2) 所属する大学院指導教員の推薦書（様式2）
- (3) 当該学生の在学証明書及び成績証明書
- (4) 当該学生の略歴（様式3）
- (5) 研究業績（様式4）

(6) 研究計画 (様式5)

9. 提出期限

2021年4月12日 (月) (必着)

10. 研究指導に係る費用

無料とする。

11. 受入の決定

提出された書類に基づき、当館大学院教育委員会で審査の上、館長が決定し、その結果を所属する大学院の研究科長及び本人に通知する。

12. その他

- (1) 特別共同利用研究員制度により受け入れた学生に対する単位の認定及び学位論文の審査や学位の授与に関しては、当該学生が在籍する大学院で行うことを前提としており、当館は直接関与するものではありません。
- (2) 当館では、災害補償制度は準備しておりません。あらかじめ所属大学で、財団法人日本国際教育支援協会の行っている学生教育研究災害傷害保険等に参加してください。
- (3) 当館は、特別共同利用研究員の宿舎の用意はありません。
- (4) 当館の研究、事業および教員紹介については、ホームページ (<https://www.nijl.ac.jp/>) を参照してください。

【関係書類の提出先及び問合せ先】

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3
国文学研究資料館
総務課 教育支援係

TEL : 050-5533-2915

FAX : 042-526-8604

E-mail : edu-m11@nijl.ac.jp

2021年度 国文学研究資料館特別共同利用研究員 研究指導概要一覧

分野	研究指導概要	指導教員	
中世文学	中世文学・中世芸能の研究	中世の文学および芸能の諸作品について、それらに関わる資料の調査と分析を重視しつつ研究を行う。なお希望に応じ、古典籍資料の扱い方や調査方法・研究方法についても指導する。	落合 博志
	中世文学の研究、特に説話に関する研究	中世から近世にかけて、寺社を舞台として伝承された説話や室町物語などを主な研究対象として取り上げる。これらと関連する絵画資料や郷土資料、民俗資料等を視野に入れ、作品の成立基盤や時代背景、および関連する人物などについて考究し、文学史的位置付けを行う。	齋藤 真麻理
	和漢比較文学研究	日本文学に影響を与えた漢籍の分析と受容の研究を、翻訳説話の受容と表象の視点から、原典読解の視点で分析を行う。今年度は、『今昔物語集』に影響を与えた漢籍の視点から『蒙求』(故宫博物院本)『冥報記』(前田家尊経閣本)『三宝感応要略録』諸本の読解を行うことで分析を進める。	相田 満
	中世和歌、堂上の学問と儀礼に関する研究	中世の和歌、歌学書、注釈書、伝書などの諸論書、及び、中世から近世初頭にかけて著された堂上公家の学問と儀礼に関する諸文献や記録資料につき、文献学的検討を通じた資料批判と検討を行い、その文化史的意義について考える。	海野 圭介
	中世仏教と文学の研究、臨済宗を中心に	室町末期(応仁の乱前後)から臨済宗に起こった思想的変換を検討する。仏教学的な観点からの研究と同時に、文学などを通して禅宗の教えをどういう形で社会へ発信されたことを考察する。後に主流となった大徳寺と妙心寺の公案禅を主な対象とする。	ダヴァン ディディエ
近世文学	近世出版文化の研究	出版物を様式的に把握することを目的とする。写本と同様、出版された書物にも大きさや装丁など、様式がある。写本に比べ、手工業製品としての出版物は、技術的経済的理由により、強固に様式化される面も見られる。出版物のモノとしての側面に光をあて、様式上の問題を、具体例に則して考察してゆく。	入口 敦志
	和歌史・学芸史の研究	私撰集・私家集・歌論歌学書などの歌書に基づいて、堂上と地下の諸問題、近世における注釈の種々相などを具体的に追究する。また、歌壇史・文壇史研究を射程に入れた伝記研究にも留意したい。	神作 研一
	近世中後期小説の研究	18世紀後半(おおよそ宝暦年間)以降の近世小説について、注釈ならびに解釈を軸に、作者・面工・書肆・書写者など作品をとりまく営為をも視野に入れた研究を行う。	木越 俊介
	江戸・明治期日本漢詩文の研究	江戸～明治時代の日本で書かれた漢詩・漢文、漢籍に施された注釈・評点などを歴史的な視点で読み解き、日本・世界の学術文化史の中に位置づける。儒学や政治・経済思想、書画・茶花などの諸芸、和歌・和文・俳諧・戯作などの文芸、中世以前の日本漢詩文との関連についても幅広く考察する。	山本 嘉孝

分野	研究指導概要		指導教員
近代文学	19世紀文学の研究	幕末から明治初頭にかけてのメディアの変革期に出版された小説や和学関連書冊ならびに作者について、その文学史上における位置づけ、人的ネットワークなどに配慮しつつ、具体的に探究する。	山本 和明
	近代文学の研究	1910年前後の文学を対象に、出版メディアと社会の様態変容を視野に入れつつ、社会文化史的に研究する。	青田 寿美
	近代文学の研究	日本近代長編小説の研究。東洋古典の長編詩文、および、西洋近代の長編小説を併せ読みながら、長編文学の成り立ちを解明する。	野網 摩利子
情報学	文学情報処理	古今の文学テキストを題材にして、自然言語処理の立場からコンピュータを利用したテキスト解析手法について実証的な研究を行う。	野本 忠司
日本史学	記録史料の保存管理史・保存科学に関する研究	多様かつ膨大な記録史料を永く物理的に保存するため、保存管理の歴史的特質を明らかにするとともに、保存科学的観点からの環境管理方法や材質分析についての研究を行う。	青木 陸
	近世情報史の研究	近世都市の災害情報について考える。具体的には、①情報伝達と災害対応、②災害対応・対策の情報蓄積、③情報の伝播、という三つの論点がある。	渡辺 浩一
	公家家職の地域展開と地域資料	主に近世の公家家職が地域の人びとにどのような広がりをもせたか、地域に遺された資料群総体の中で考える。近世天皇・朝廷研究に収斂することなく、地域史のひとつとして研究を行う。	西村 慎太郎
	近世の地域行政に関する史料学的研究	各地の奉行所・代官所や村方・町方に遺された史料群の構造分析を通じて、江戸幕府・諸藩の地域行政のあり方を考える。特に、各地域の自然環境や生産活動などの違いに伴う文書類の作成・管理・保存の相違や特色などにも注目して研究を行う。	太田 尚宏
	近現代文書管理史研究	公文書の作成から廃棄・保存にいたる管理システムの変遷の歴史および公文書を補完する私文書の特性について、具体的文書を参考にしながら研究を行う。	加藤 聖文
	近世・明治期の政治文化と出版制度・書籍史料研究	17世紀前期の民間本屋の出現は書籍の作成・流通・利活用・蓄積に大きな変更を与えた。また書籍メディアと政権の関係を維新政府は改変する。これらについて歴史学・書誌学・アーカイブズ学等の方法論により取り組む。	藤實 久美子
アーカイブズ学	アーカイブズ学	多様かつ膨大な記録史料(アーカイブズ)を永く保存し、現代と未来の社会に活用するための学問であるアーカイブズ学について幅広く研究する。記録史料論、記録史料管理論を柱にして、記録史料の収集・整理・保存・利用に関する研究を深める。	青木 陸 渡辺 浩一 西村 慎太郎 太田 尚宏 加藤 聖文 藤實 久美子

National Institute of Japanese Literature
Special Inter-University Research Fellows
List of Faculty and Research Expertise for the 2021 academic year

Area	Research Expertise and Interest	Faculty Name
中世文学 Medieval Japanese Literature	中世文学・中世芸能 Medieval Japanese Literature, Medieval Japanese Performance Arts	Hiroshi Ochiai
	中世文学、特に説話 Medieval Japanese Literature, especially Narratives	Maori Saito
	和漢比較文学 Wakan Comparative Literature	Mitsuru Aida
	中世和歌、中世・近世の公家の学問と儀礼 Medieval Waka, Knowledge and Rituals of Court Nobles in Medieval and Early Modern Japan	Keisuke Unno
	中世仏教と文学 Zen Buddhism and Japanese Literature in the Middle Ages	Divin Didier
近世文学 Early Modern Japanese Literature	近世出版文化 Early Modern Japanese Print Culture	Atsushi Iriguchi
	和歌史・学芸史 History of Waka, History of Arts and Sciences	Kenichi Kansaku
	近世中後期小説 Mid-late Early Modern Novels	Shunsuke Kigoshi
	江戸・明治期の日本漢詩文 Sinitic Poetry and Prose of Edo- and Meiji-Period Japan	Yoshitaka Yamamoto

Area	Research Expertise and Interest	Faculty Name
近代文学 Modern Japanese Literature	19世紀文学 19th-century Japanese Literature	Kazuaki Yamamoto
	近代文学 Modern Japanese Literature	Sumi Aota
	近代文学 Modern Japanese Literature	Mariko Noami
情報学 Informatics	文学情報処理 Computational Literature	Tadashi Nomoto
日本史学 Japanese History	記録史料の保存管理史・保存科学 Preservation Management History and Conservation Science for Archives	Mutsumi Aoki
	近世災害情報史 Early Modern Disaster Information History	Koichi Watanabe
	公家家職の地域展開と地域資料 Development of the Court Aristocracy in Regions in Early Modern Japan and Regional Materials	Shintaro Nishimura
	近世の地域行政に関する史料 Historical Materials of Local Government in Early Modern Japan	Naohiro Ota
	近現代文書管理史 History of the Modern Document Management	Kiyofumi Kato
近世・明治期の政治文化と出版制度・書籍史料研究 The relationship between political culture and the publishing system in Edo and Meiji	Kumiko Fujizane	
アーカイブズ学 Archival Studies	アーカイブズ学 Archival Studies	Mutsumi Aoki Koichi Watahabe Shintaro Nishimura Naohiro Ota Kiyofumi Kato

様式 1 [Form 1]

特別共同利用研究員の委託承諾願
Request for acceptance of a student as Special Inter-University Research Fellows

西暦 年(year) 月(month) 日(day)

国文学研究資料館長 殿

To the Director-General of the National Institute of Japanese Literature,

大学大学院名

Name of Graduate School

所 属

Name of Department

氏 名

Name of President or Dean (Print)

Ⓜ

Signature

下記の者を貴館の特別共同利用研究員として委託したいので、よろしくお願いたします。
I would like to request for acceptance of the following student as a research student of Special Inter-University Research Fellows in your institution.

記
Description

(ふりがな) (Kana) 氏 名 Name of the Student	
所属専攻名 Major and Department	
委託希望の研究課題名 Proposed Research Topic	
委託希望の指導教員名 Intended Host Faculty Member	
委託期間 Duration	2021年4月 ~ 2022年3月 From April 2021 to March 2022

推 薦 書

Recommendation Letter

西暦 年(year) 月(month) 日(day)

国文学研究資料館長 殿

To the Director-General of the National Institute of Japanese Literature,

大学大学院名

Name of Graduate School:

研究科名

Name of Department:

職 名

Job Title:

指導教員 (推薦者) 氏 名 (活字)

Name of Supervisor (Print)

Ⓜ

Signature

貴館の特別共同利用研究員として下記の者を推薦いたします。なお、貴館における委託希望教員の内諾を得ていることを申し添えます。

I would like to recommend the following student as a candidate for a position of Special Inter-University Research Fellows at your institute. I would like to add that the student has obtained an informal consent regard to the application submission of this student from the intended host faculty member.


記

Description

推薦する学生氏名 Name of the Applicant	
学生の所属専攻名 Major and Department	
委託希望の指導教員名 Intended Host Faculty Member	
推薦理由 (評価を含む) Specific Reasons (including evaluation)	

履 歴 書 Curriculum Vitae

年(year) 月(month) 日(day) 現在(As of)

ふりがな Kana 氏名 Name	氏 FAMILY 名 First ミドル Middle	男 Male 女 Female
誕生日 Date of Birth	年 Year/ 月 Month/ 日 Day 満 歳 years old	
現住所 Present Residence	郵便番号 Postal Code:	
連絡先 Contact Information	Tel: Email:	
学歴 Academic Backgrounds	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	高等学 校 high school
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
職歴・ 研究活動含む 社会活動 Professional Career/ Other Social Activities including Publications	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
	From: 年 Year/月 Month - To: 年 Year/月 Month	
上記内容に間違いありません。 I hereby affirm the above statement to be true and correct.		
<p style="text-align: center;">年 Year/ 月 Month/ 日 Day</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> 氏名 (活字) Name (Print) </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  Signature </div> </div>		

様式 4 [Form 4]

研究業績

Publication List

氏名 Name

学部卒業論文名 Title of Undergraduate Thesis	
---------------------------------------------	--

修士学位論文名 Title of Master's Thesis	
-------------------------------------	--

著書及び学術論文名、発表題名 Title of books, academic papers, or publications in other forms.	発行又は 発表年月日 Publication Date	掲載誌名 又は学会名 Journal title or Conference name	発行所 (著書のみ) Publisher (books only)

※研究業績には学会等における口頭発表を含めてもよい。

*Oral presentations at conferences may be included to the list above.

研 究 計 画

Research Proposal

氏 名 Name

<p>当館における研究課題名 Title of the Proposed Research Project at NIJL</p>	
<p>内諾を得ている希望指導教員名 Name of the intended host faculty who has given the informal consent to you</p>	

当館における1年間の研究計画について400字以上で具体的に記入してください。

Please describe your research plan for 1 year in details in 400 Japanese letters (300 words in English) or more.

--